

歯以外の選択肢がなかったの、個人的には大きな変化です。ただ、その奥の一番後ろの歯が4本（前後左右）あることが条件になります。適応の方にはお話しするようにしますが、気になる方がおられましたらお聞きください。

オノマトペ

「オノマトペ」という言葉を聞いたことありますか？昨年読んだ本の中で初めて知りました。ある文献によると、「オノマトペとは、状態や感情、あるいは動物の鳴き声や物音を、模倣したものであり、その中には『擬音語』と『擬態語』がある。」とのこと。「シュツと」「パツと」「ゴロゴロ」「ビクビク」など誰でも使用している言葉です。

昨年読んだ本には、オノマトペを使用することで相手に状況が伝わりやすく、人が動くと書いてあり、そうかなあと思っていました。しかも日本語のオノマトペは英語などより豊富らしいのです。

実は先月、あるオンライン企画で、「オノマトペ博士」という方にお会いしました。なんと歯医者さん！食感を表す言葉などが「美味しさ」につながるといった研究をされているようです。

確かに、グルメリポーターはオノマトペのオンパレード。「ふわふわ」「もちもち」「サクサク」「カリカリ」「コリコリ」。その言葉だけで何か伝わってきます。

これまであまり意識していませんでしたが、オノマトペ、使ってみようと思います、どんどん。

デジタルの入れ歯

入れ歯をなくされる方がいます。なくなるとたんに食べられなくなったりするので予備も大切だなあと思っています。そこに、最近すごい技術があることを知りました。なんと、専用のカメラで総入れ歯の情報を記録しておく、何かあった時、予備の入れ歯を作れるというのです（部分入れ歯は難しい）。本当に驚き。模型などを残しておくのは大きな負担ですが、データでしたらPCに何人分でも入ります。まだこれからですが、この技術は将来、一般化してほしいと思います。